

# 牛海綿状脳症(BSE)の疑いのない 安全な畜産物の供給について

去る九月十日に牛海綿状脳症(BSE、いわゆる狂牛病)を疑われる牛が発見されたことをきっかけとして、各関係者の方々に食肉の安全性等に関する不安が拡がっておりましたが、農林水産省と厚生労働省が緊密な連携のもとでEUの検査基準をはるかにしのぐ世界最高水準の検査体制を確立したことにより、安全な食肉以外はと畜場から市場に出回らないこととなりました。

牛肉や牛乳・乳製品は、もともと安全です。

牛肉や牛乳・乳製品はOIE(国際獣疫事務局)の基準において、もともと安全です。

牛海綿状脳症(BSE)は、英国で実施されたBSE感染牛の材料の Maus 等への接種試験で牛から Maus への感染が明らかとなった脳、脊髄、眼及び回腸遠位部以外の部分からの感染は認められていません。

牛肉や牛乳・乳製品について不安を抱く方がおられますが、このことを十分に御理解の上、安心して召し上がってください。

安全な牛からのものだけがと畜場から出回り、それ以外のものは一切出回らないシステムを確立したので安心です。

今回の事態を踏まえ、農林水産省と厚生労働省が協力して、と畜場において、食肉処理を行う全ての牛について、BSE迅速検査を実施

と畜場においてBSE感染性がある特定危険部位である脳、脊髄、眼、回腸遠位部については除去・焼却

農場において、BSEが疑われる牛、その他中枢神経症状を呈する牛等についてBSE検査を含む病性鑑定を実施。検査結果にかかわらず、と畜はすべて焼却することとしました。

これにより、今後は、安全な牛からのものだけが、と畜場から市場に出回り、それ以外のものは食肉としても飼料原料としても一切出回ることのないシステムが確立されましたので安心です。

さらに、現在流通している加工食品について、製造者に対して自主点検を求めるとともに、特定危険部位の使用・混入が認められた食品の製造・販売の自粛や自主回収を指導しています。

また、BSEの主な感染源とされている肉骨粉等については、当分の間、すべての国からの輸入及び国内における製造・出荷を一時停止しました。これにより、BSEの感染経路が遮断されます。

今後、万、BSEの感染が疑われる牛が発見されても、新しい検査システムによって完全にチェックされ、食用としても飼料原料としても一切市場に出回ることはありません。

今後の感染経路は遮断されますが、今回BSEと確認された1頭に關しては、現在、輸入肉骨粉の流通経路の解明など全力で原因究明を進めているところです。

このようなことから、今回確認された1頭以外に既にBSEに感染している牛がいないと断定することはできません。

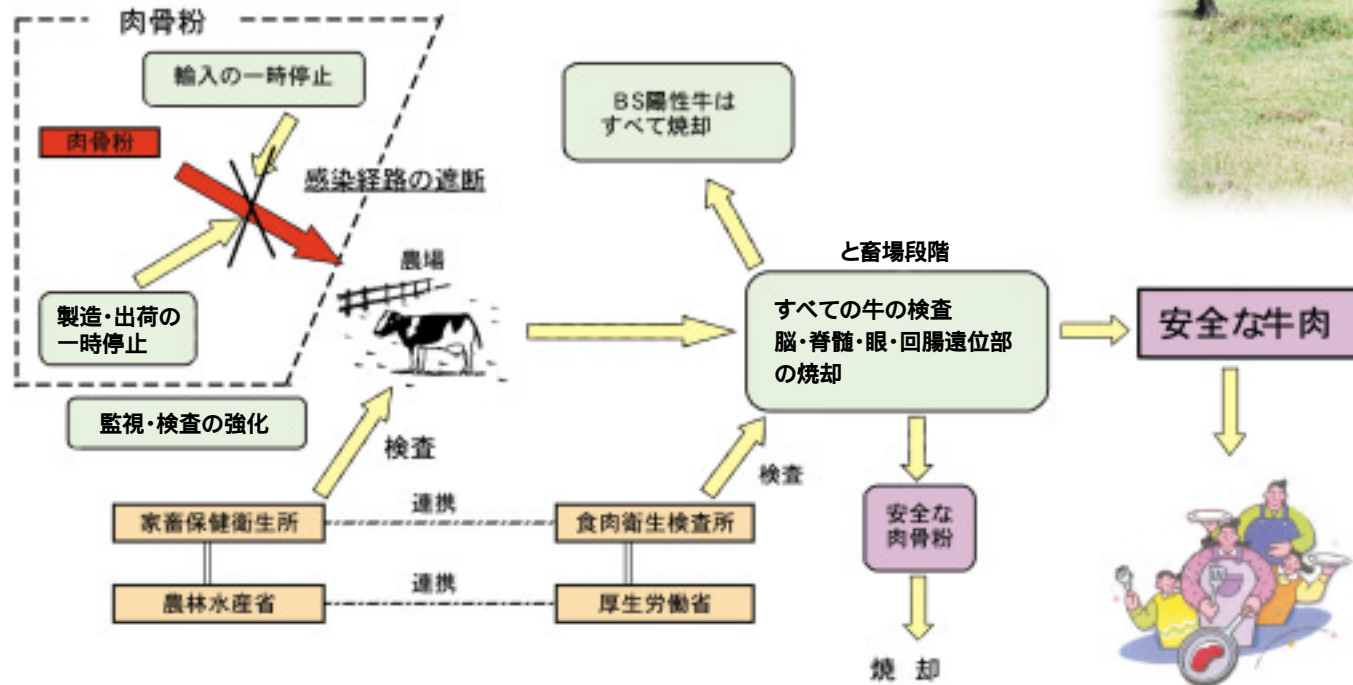
しかしながら、厚生労働省と農林水産省が連携して、と畜場におけるすべての牛に対するBSE迅速検査の実施や農場段階におけるBSEサーベイランスの強化等の新検査システムが整備されていますので、仮に新たにBSEが疑われる牛が発生しても、このシステムにより発見され、すべて焼却処分を行うこととなります。このため、食用としても飼料原料としても、市場に出回ることはありません。

新検査システムで採用するBSE迅速検査(エライザ法)は、その牛がBSEでない場合でも陽性として検出しやすい特性を持っていることについて、ぜひ御理解下さい。

しやすい特性を持っています。したがって、このBSE迅速検査で陽性とされる牛が発見された場合は、さらに精度の高い確認検査を実施し、これによってBSEであると確定診断された場合には、全て直ちに公表することとします。

国民の皆様方には、このBSE迅速検査システムは、その牛がBSEでない場合でも陽性として検出される特性を持っていることをぜひ御理解下さい。

牛海綿状脳症(BSE)の疑いのない安全な畜産物の供給体制の構築



## 牛海綿状脳症(BSE)に関する説明会開催

沖縄総合事務局では、安全な食肉以外はと畜場から市場に出回らないシステムが確立されたことを受けて、幹部職員が関係市町村長等に直接説明を行うとともに、北部・中南部・宮古・八重山における各地の畜産農家、生産者団体、業界関係者等の生産サイドの方々に対する説明会、消費者団体、学校給食会、栄養士会、量販店等の消費・流通サイドの方々に対する説明会を随時開催し、生産者対策や食肉の安全性等に対する理解を求めてきました。

このような中で、説明会においては、生産サイドからは、今後の畜産経営が安定するよう特段の配慮をお願いしたい旨、消費・流通サイドからは、安全な食肉が供給されるようお願いしたい旨の要望がなされました。

説明会の開催により、生産者サイドには生産者対策に対する理解、消費者サイドには食肉の安全性についての理解が深まったことと想われます。

